



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に『ファーストクラスの心配り』『あなたの人格以上は売れない!』(プレジデント社)、『成「幸」学』(講談社)、『出過ぎる杭は打ちにくい!』(サンマーク出版)、『面白くなくちゃ人生じゃない!』(ロングセラーズ)、『小説・球磨川』(上下巻・ワニブックス)などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.3percent-club.com

21世紀だ! ————— 人生・農業リセット再出発 192

緑の魔法使い

成 功法則。「出来るか?」と聞かれたら何も出来ないで、「はい! 出来ます!」と、0.5秒以内に手を挙げる。その後でどうすれば出来るか! を考えれば必ず道は開ける。

「あなたは緑の魔法使いね!」と、エリザベス女王が握手を求めて絶賛した日本人の男がいる。1958年、長崎市生まれ、久留米工大を卒業して自動車整備士になる。花屋は儲かると聞いて23歳で「池坊」に入門、花を一生の仕事と決意する。25歳で実家の牛小屋を改造して花屋を開店するが、大水害で軽トラックや花畑を流されて挫折。生花店で働き、1畳の店舗で月300万円を売り上げる。29歳で再び独立、長崎市内の繁華街に1m四方の隙間を借りて花売り男になる。花を売らずに夢を売る。採算は度外視して、3千円の花束を長崎から福岡まで届ける顧客感動の足マメで展開。2年で30店舗に拡大して年商1億円、面積当たり売上で日本一になる。

商社からの誘いで会社を作って41歳で東京に進出して中国やベトナムにも事業を拡大するが、8億円の負債を抱えて2年で倒産。困窮時代、客に「庭は作れるか?」と聞かれ、やったことがなかったが「出来ます!」と大きな声で直ぐに答えた。それから、どうしたらできるかを考えた。

45 歳で世界最高峰の園芸コンテスト「チェルシー・フラワーショー」をロンドンで観てレベルの高さに衝撃を受け、「必ずチェルシーに出る!」と宣言する。親から相続した土地を売った資金で2004年に46歳でチェルシーに挑戦、松と野草だけで水の循環を表現して見事に準優勝する。2006年に再挑戦、優勝のゴールドメダルを獲得して世界の話題をさらう!

それからは破竹の勢いで神業的な優勝を重ね、世界の庭園マジシャンと呼ばれる石原和幸の誕生となる。花を植えるより活ける感じで植栽する盆栽、雑草や苔を使って西洋の常識を覆す手法。

チャールズ皇太子も庭の魅力に目を見張り、「英国女王も賞賛する金賞6回受賞の凄技日本人!」と世界に報道される。2016年、5年連続の部門金賞だけでなく大会最高賞もW受賞する。

江戸時代の日本は世界一庭師が多い国で職人も尊敬されていた。その日本庭園造り文化を世界に広めたい! 羽田空港の出発ゲートにある花の楽園や著名ホテルの庭、出雲「大根島」牡丹の館、広島県庄原の花の庭園街づくりなどを手掛け続ける彼は、蝶ネクタイ、スーツ、ハット姿のイギリス流ガーデナーの正装で仕事をする。

石 原さんと私の17歳留学時代とが重なる。米国ボランティアの里親たちが生活をみてくれる文部省派遣の高校留学生には小遣金もなかったので、芝刈りなどのアルバイトは認められていた。私を雇ってくれた大学教授夫妻が言った。「日本庭園は憧れの的、ミニアチュアでいいけど、そんなの造れるかな?」「造れます!」。後先も考えずに少年は即座に断言した。それからが大変だった。授業が終わると直ぐに現場に向かい、庭先にスコップで池を掘り、ベニヤ板をアーチ状に曲げた型枠にコンクリートを流し込んで太鼓橋を作り、岩を積み上げ、植栽していく。日本の記憶をたどりながら試行錯誤で、1週間かけて完成させた。傑作は評判を呼び、見学者が押し寄せて新聞に写真入りで紹介された。

まず、出来ます! やります! と宣言する。どうすれば出来るかを考える。完成図をイメージする。有言即行! この経験があったればこそ、今日の手づくり我が家もあるのだ。泳ぎは好きでないのに2年半もかけてプールを手づくりし、今でもラケットもないのにテニスコートも造った。

石原は言う、「夢は高ければ高いほど登り甲斐がある。あんた、おかしいんじゃないの!」と言われるぐらいの夢を人に話す。それが夢の扉を開く鍵になる」と。